

令和7年度 有水中学校 学校運営協議会 実施報告

1 学校の概要

学校名	都城市立有水中学校		校長名	和田 健	
学級数	5学級	児童生徒数	20名	職員数	15名
教育目標	生き抜く力をもった笑顔あふれる生徒の育成 【校訓】 強く雄々しく 清く豊かく 若く凛々しく				

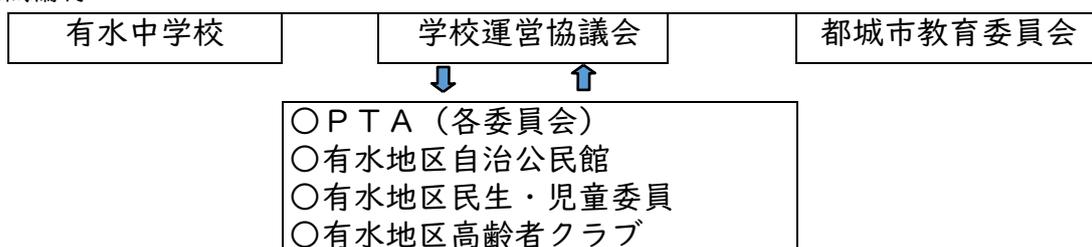
2 学校運営協議会に関わる組織

(1) 委員 (計7名)・事務局 (計3名)

学 校 運 営 協 議 会 委 員	No.	所属名 (役職)	氏 名	備 考
	1	前16地区公民館長	原口 好清	会 長
	2	前13地区公民館長	二見 法雄	副会長
	3	13地区公民館長	新地 利光	
	4	元高城支所地域振興課職員	福島 優子	
	5	17地区公民館長	山田 浩一	
	6	元PTA会長	末永 真人	
	7	PTA会長	溝添 友貴	
	8			

事 務 局	役 職	氏 名
	校 長	和田 健
	教 頭	西峯 稔
	教務主任	中村 利隆

(2) 組織編制



3 活動報告

月 日	主な活動及び内容
1学期	
4月	・学校運営協議会委員選出
4月23日	・第1回学校運営協議会【小中合同】(委嘱状交付、学校運営協議会説明、学校経営説明、質疑)
5月17日	・小中合同スポーツフェスタ参観
7月3日	・第2回学校運営協議会(フリー参観、
2学期	
10月25日	・第3回学校運営協議会(学習発表会参観、学校評価の項目検討)
12月	・フリー参観【12月1日~5日】(オープンスクール機関に授業参観)
12月12日	・第1回面接指導への協力(3年)
12月16日	・第4回学校運営協議会(フリー参観、学校評価の結果・考察についての協議)
3学期	
1月9日	・第2回面接指導への協力(3年)
2月12日	・第5回学校運営協議会(フリー参観、次年度教育課程説明、学校評価、改善事項検討、生徒会役員との意見交換)

4 今年度実施した「熟議」のテーマ（小中合同学校運営協議会を含む）

10月：「公民館活動と学校行事の兼ね合いについて」

5 学校運営協議会の意見を生かした特色ある取組

(1) 学校支援活動

- キャリア教育の一環として、「職業人の話を聞く会」や総合的な学習の時間の中での講話について、講師の依頼等への協力をいただいた。
- 地域学習の一環として、本年度は、調理実習を行う際に講師として、生徒と一緒に調理実習を行う機会（写真①）を設定した。また、年1回地域の食材を使って自分たちで調理する機会を設定しているが、本年度も数名の地域の方と一緒に活動する場を設定した。（写真②）
- 3年生の高校入試における面接指導の一環として、今年度も、運営協議会委員に面接官として協力していただいた。（写真③）子どもたちは、地域に見守られ、安心感を得ることができている。また、運営協議会委員の方々にとっては、子どもたちの成長を実感することができる取組となっている。



【写真① ガネづくり】



【写真② 地産地消自炊の日】



【写真③ 3年面接指導】

(2) 教育課程の改善（カリキュラム・マネジメント）

- 昨年度実施した学校評価で、読書活動についての項目について、落ち込みが見られ、図書室の在り方について改善を図った。特に、本年度は、生徒会活動を再編するとともに、図書館サポーターと連携を図り図書館の様態替えやイベントを企画した。また、週2回朝自習の時間を読書の時間として設定した。

6 学校運営協議会の成果と課題（○：成果 ●：課題）

- 学校運営協議会の始まる前に、フリー参観を実施し、生徒や教職員の姿を実際に見ていただいたうえで、中学校の今後の在り方等について、協力や助言をいただくことができた。
- 3年生の面接指導に面接官として協力いただき、面接指導の後にフィードバックを行ったことで、面接指導のポイントについての助言をいただくことができた。
- 公民館活動や高齢者クラブ等の活動と学校行事の兼ね合いについて、助言をいただき、活動の在り方について見直すきっかけとなった。
- 熟議を行う際、生徒や保護者などの意見を交えることができなかつたため、授業参観日などを利用して熟議を行う場を設定する必要がある。
- 少子化の進展により、生徒数の減少が著しい中、学校をはじめ地域の活性化をどのように図っていくべきか、具体的な取組内容を検討していく必要がある。

7 次年度の方向性

- 第1回学校運営協議会（小中合同）において、全職員が参加し、お互い理解を深めたうえで、協議会を運営しながら学校の課題解決に取り組んでいきたい。